

学科名	建築・デザイン学科						
科目名	施工管理演習						
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	3年次後期		
必修・選択の別	必修科目(建築工学コース) 選択科目(建築コース) 選択科目(デザインコース)						
担当者	達見清隆						
授業の到達目標(シラバスから)	①安全管理・品質管理・工程管理・原価管理に関する知識を習得する。(C2) ②建築現場に於ける「着工から竣工」までの仕事の流れを理解し、工程表作成方法を理解する。(C2) ③建築技術者としての使命感と倫理感を習得する。(A5)						
日程と内容	第1回(9/18): 導入講義(授業の進め方・成績評価法)、建築工事の流れ説明 第2回(9/25): 契約及び建築工事の流れ(都庁を例にして指名競争入札について説明後、建築工事の流れ) 第3回(10/2): 契約及び建築工事の流れ(光の協会を例にして随意契約について説明後、建築工事の流れ) 第4回(10/9): 安全管理について、工程管理・品質管理(杭工事・土工事) 第5回(10/16): 工程管理・品質管理(鉄筋工事・型枠工事・コンクリート工事)積算等演習 第6回(10/23): 積算の説明、工程管理・品質管理(仮設工事・基礎工事) 第7回(10/30): 一級建築士試験(土・山留め・杭)工程管理について 第8回(11/6): 工程管理について(鉄筋数量・型枠数量・コンクリート数量を用いた工程表作成方法) 第9回(11/13): 工程表作成演習 第10回(11/20): 学外授業対象建築物について 第11回(11/27): 学外授業 第12回(12/4): 契約・届出について、一級建築士試験(契約・届出) 第13回(12/11): 工程管理・品質管理(躯体工事、コンクリート工事、タイル工事)一級建築士試験(躯体・型枠・コンクリート) 第14回(12/18): タイル割付図作成演習 第15回(1/15): タイル割付図解説、倫理・工学倫理について (1/22)定期試験						
成績評価基準	定期試験	60%	実技				
	臨時試験	20%	部外評価				
	報告書・レポート		プレゼンテーション				
	課題						
	演習	20%	計	100%			
授業到達目標の達成度	①安全管理・品質管理・工程管理・原価管理に関して知識を習得する。:概ね達成できた ②建築現場に於ける「着工から竣工」までの仕事の流れを理解し、これを基に工程表を作成する。:概ね達成できた ③建築技術者としての使命感と倫理感を習得する。:概ね達成できた						
反省点	・施工法Ⅰ、施工法Ⅱ、施工管理で使われていた教科書「取組建築施工」をベースにして、社会に出て実際に使われている公共建築工事標準仕様書、建築工事監理指針の内容を取り入れながら授業を行った。 ・パワーポイントが見づらい、レーザーポインターが見づらいといったコメントが1名から出されていた。授業終了後口頭で確認していたが、反応はなかった。文書で意見を出してもらう等で、早く状況がわかれば席を移ってもらうことも可能となる。 ・毎回の授業の要約資料を配付するよう検討したい。						
来年度の計画	平成25年度同様、 ・施工図作成、工程表作成に関する演習、過去の一級建築士試験(施工)を体験してもらう。 ・建築現場で基本となる安全管理・品質管理・工程管理・原価管理についての説明を行う。 ・学外授業も取り入れるよう検討したい。						
授業評価アンケートに対するコメント	・学外授業が思ったより好評だった。:事前準備と見学先との交渉が必要だが、次年度も検討したい。 ・パワーポイントについて、全般的には分かりやすかったとのコメントだったが、1名ほど見づらかったとのコメントがあった。また、レーザーポインターが見づらいとのコメントも1名あった。:授業終了時に分からないことはなかったが口頭で確認していたが、言いづらかったのかもしれない。他の方法を模索する。 ・配付資料がもっとあった方が良いとのコメントが3名ほどあった。:授業に関する要約資料配付を検討する。 ・覚えることが良く分からないとのコメントが1名あった。:社会に出て問題にぶつかった際に使うであろう本とその内容を紹介する授業を行っていた。今覚えるべきことをはっきり伝えるようにしたい。						
履修登録者数	40名	定期試験 受験者数	39名	合格者数	39名	合格率	100%